

研究課題「生活習慣病の発症予防に関する職域コホート研究」に係る情報公開

1. 研究の対象

中部地方の自治体に1997年以降勤務した職員・元職員で名古屋大学大学院医学系研究科国際保健医療学・公衆衛生学（旧公衆衛生学）が実施している愛知職域コホート研究に同意書を提出し、ご協力頂いている方

2. 研究目的・方法

この研究は、文部科学省科学研究費補助金（科研費）基盤研究(B)：事業所健診成績の有効利用による脳・心血管事故の第一次予防-データベース作成とコホート内症例対照研究（研究代表者：豊嶋 英明）を得て、中部地方の某自治体に勤務する職員の協力を得て1997年（平成9年）に開始されました。その後も、継続的に科研費を受けて、継続されています。

研究の実施にあたっては、対象となった方個人から書面により、研究協力に対するご意思（同意）の有無を確認しています。同意は、アンケートの回答、健診成績の利用、健診時残余血清の保管と利用に関して個別に確認しており、その後の生活習慣病の発症に関する追跡調査の方法と定期的な実施についても同時に説明してきております。研究への同意は、調査のたびに確認することとしており、また同意を撤回する方法についても周知しています。さらに、研究の方法、特に対象となった方に対する不利益がないか、個人情報の保護がしっかりとされているか、研究目的と研究方法は妥当か等について、名古屋大学医学部倫理審査委員会の審査・承認を受け、定期的に研究の経過を倫理審査委員会を通して、大学院医学系研究科長に対して報告しております。

生活習慣病（脳卒中や心筋梗塞、高血圧、糖尿病、脂質異常症、がんなど）の予防のためには、それらの発症に関係している生活習慣や検査成績を明らかにする必要があります。特に、生活習慣病を発病された方々と健康のまま過ごされた方々の間で、これらの成績および資料を比較検討することが重要で、そのために長期間にわたって研究を継続し、調査開始以後に入院を要する病気になられた方がいらっしゃるかどうか、病院へ定期的に通っていらっしゃるかどうかについて知ることが極めて大切です。皆さまの末永いご協力を心よりお願い申し上げます。

~~さらに、一部のご退職者に腹部超音波や体カテストを含む健康調査を実施し、高齢期の虚弱さ（フレイル）や脂肪肝と中年期の生活習慣等との関連を調べます。~~

研究期間：実施承認日～2028年3月31日（予定）

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2020年11月16日作成

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科・国際保健医療学・公衆衛生学

准教授・平川 仁尚八谷寛